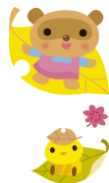




《なかよしルームでは…》
お母さんと一緒に、お店屋さんごっこをして楽しみました。
お店屋さんでは「いらっしゃいませ!」お客さんになって「これください」「ありがとう」
3つの言葉を覚えて、上手に言えました☆



《なかよしミニでは…》
公園の木々は紅葉が始まり、色とりどりの秋の色が楽しめましたよ♪、13種類の木の名前をしながら、みんなでお散歩を楽しみました(*∇*)
落ち葉のシャワー!!楽しかったね♪ また、行きたいですね☆



永原学園地域子育て支援センター
さんこう・ぽぽらだより
2016年12月発行 第116号
認定こども園 西九州大学附属三光保育園
TEL:0952-31-6877

12月の生活目標

- ・お友達と仲良く遊びましょう
- ・「かしてね」「どうぞ」「いいよ」「なかまにに入れて」等の言葉を使いましょう

節目の年

今年度は、永原学園が創立されて70年、三光幼稚園が50年、三光保育園が10年と、節目の年でした。記念事業や記念式典の開催を通して、久しぶりにお会いする懐かしいお顔をたくさん見かけました。在園児の子どもに混じって、お抹茶さんを手伝ってくれた卒園児、売り手のサポートをしてくれた卒園児、そして記念式典では、総合司会を担ってくれました。また、フジテレビで活躍するアナウンサーは、メッセージを寄せてくれました。既に、保護者になってこの度のイベントを支えてくれた方たちも多くいますが、この節目の行事と一緒に分かち合えたことは大きな喜びであり、これからの励みにもなりました。当日、お客様としてお越し下さった方々にも、心から熱くお礼申し上げます。職員一同、子どもたちの幸福と乳幼児教育の発展のために、今後一層の努力と精進をしていきたいと思ひます。

さて、いよいよ師走に入りました。東京では11月に初雪が降るなど、異常な気象が気になるところですが、子どもたちは寒さにもめげず、雪が降れば雪と遊び、霜が張れば霜とたわむれるなど、自然の変化を体で感じ取っています。

先月、新栄校区で3歳児が自家用車に轢かれる痛ましい事件が起きました。年末の多忙な時期、どうぞお子さんからは目を離さないよう十分気をつけてください。

インフルエンザも例年より早めの流行が予測されています。手洗いやうがい、マスクの着用等、気をつけましょう。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

「シニアサロンぽぽら」に遊びにきませんか
子育て支援センター「さんこうぽぽら」では、月に1回地域の方におこし頂き楽しいひと時を過ごしています。

日 時： 12月14日(水) 10時から12時
内 容： 保育園の誕生会・クリスマス会にご招待!!
場 所： 地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」
電話でお申し込み下さい。 Tel. 31-6877

♪育児相談・食育相談をしています♪
三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。
※毎月第3火曜日の14時～16時までは、西九大短期大学部教員による食育相談を行っています。★事前にお電話でお申し込みの上ご利用下さい。

「なかよしミックス」に遊びにきませんか!
就園前までのお子様と保護者の方が一緒に参加して親子で楽しく遊ぶ集いの場です。
★第9回目の12月は、下記の日程で実施します。
日時：12月15日(木) 10:00～12:00
内容：クリスマス会
持ってくるもの：コップ
場所：地域子育て支援センター「さんこうぽぽら」
※事前のお申し込みが必要です。受付は、平日9:30～17:00
(いずれの日も先着15組の親子)

12月の「フリーデイ」について
保育園の支援センターを下記の日程で開放します。お好きな時間にお出かけ下さい。
日時：12月19日(月) 10:00～12:00
※事前の予約は必要ありません。

寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学の窓から

子育て便り

「ことばのキャッチボール」

西九州大学子ども学部子ども学科 准教授 櫻井京子

「今朝、お子さんと『ことばのキャッチボール』してきましたか？」と尋ねると、「はい、しました。」と答えられるお母さんがほとんどです。そこで、次に「どんなことを話しましたか？」と尋ねると、「あれ・・・」と戸惑われる方が多いようです。本来、相手とのコミュニケーションを図る時、会話はお互いに投げかけることばのキャッチボールで成り立っています。自分が話し、相手がそれを受けて返す・・・これは、親と子どもとの関係においても同じことが言えるでしょう。

自分自身の子育てを振り返ると、投げかけるボールばかりが思い出されます。特に、朝や夕方の忙しい時間帯に発していたのは「早く〇〇しなさい」という子どもを急かすことばであったような気がします。これでは、一方的に投げかけるばかりで、子どもが返してくれることばを受け止めていたとはいえません。今思うと、もう少しこの時期の子どもの投げってくれるボールを受け止める余裕があればよかったかなと反省しています。キャッチボールをする時には、どちらか一方だけがボールを投げるばかりでも受け止めるばかりでも、お互いに疲れてしまいますよね。

子どもは時々、思いもしないような素敵なことばを伝えてくれます。瞳をきらきらと輝かせ、今日園であったことや、感動したこと、楽しかったこと、悲しかったこと、お友達と遊んだことなど、さまざまな思いを投げかけてくるのです。大人の世界では、「今忙しいから、あとでね。」「ああ、そうそう。さっきの話何だったの？」ですみませんが、さっきのことを改めて問われても、子ども自身がすでに忘れてしまい、二度とそのことばに触れることはできません。子どもは「今、この時」を大切に生きています。

時には家事などの手を少し休めて、ほんのいつかの時間、じっくりと子どもの話を聞いてあげてください。そしてそのことばをしっかりと受け止めて、ボールを返してください。

「子育て上手は聞き上手」です。「ことばのキャッチボール」をとおして、素敵な親子関係を築いてほしいものです。

食育だより

「オーストラリアの食育について」

西九州大学 健康栄養学部 健康栄養学科 講師 園部ニコル

去年と今年の夏休みに健康栄養学部の学生と西オーストラリア州、パースにあるフードバンクの視察をしました。フードバンクについて聞いてことがありますか？

●フードバンクとは？

「[食品メーカー](#)や[外食産業](#)などでは、品質には問題がないものの、包装不備などで市場での流通が困難になり、商品価値を失った食品が発生する。従来は廃棄されていたこうした食品の提供を原則として無償で受け、生活困窮者を支援している [NGO](#)・[NPO](#) 等の市民団体を通じて[野外生活者](#)や児童施設入居者などの生活困窮者に供給する。[賞味期限](#)切れなど品質に問題のある食品は対象としない。」(Wikipedia から) この団体のルーツはアメリカにありますが、現在日本を含む世界中に存在しています。

●パースにあるフードバンクの特徴は？

西オーストラリアで年間 **53000** 人に食事のサポートをしています。食べ物や食事の提供以外に食育にも力を入れています。栄養バランスの取れた食事はどのようにできるのかをポスターを配布しています。子供たちに大人気のスパヒーロフードキャラクターを生み出しました。学校に訪問し、ご飯を作る楽しさや大切さを実践的に教える活動をしています。そのほかにもフードバンクの調理室で調理の仕方も教えています。

●Super Hero Food とは？

子供たちが栄養のことをわかるために食べ物をスパヒーロにたとえています。スパヒーロフードはエネルギーのもとで、体を作ると守る役割があります。その反面、ゾンビーフードは病気や肥満を起こす、塩分、脂質と糖質です。根本的なメッセージは体に良い食べ物を食べると元気なじょうぶな子供になります。しかし、高塩分、脂質や糖質の食べ物をたくさん食べると体にダメージ与えることとなります。

健康栄養学科の学生にとって興味深い経験でした。世界中の食育や食文化を見ることによって日本の食育や食文化を見直したり発見したりすることになるでしょう。



学生とフードバンクの栄養士さん



スパヒーロのTOASTY